

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	山岡俊一(豊田工業高等専門学校教授)	令和7年11月26日(水)	まちづくり部 区画整理課	丹陽町出張所周辺地区 都市再生整備計画事業 評価委員会設置要綱	学識経験のある有識者、 地区に関連する各種団体の 代表者等を中心に組織 している都市再生整備計 画事業評価委員会を母体 とする
その他の委員	岩田泰江(主任児童委員) 牛田文治(外崎まちづくり協議会副会長) 土屋艶子(北三ツ井民生委員・児童委員) 山田慎吾(外崎まちづくり協議会会長) ※五十音順				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・特になし。
	成果の評価	・指標①(防災対策への満足度)について、年度ごとのサンプル数の少なさや回答数のばらつきにより、評価値に変動が生じ得る点について確認があった。 ・今後、地区別データの取得が可能となった場合には、より適切な評価に向けた再評価が必要となる旨、確認があった。 ・その他の指標については、特になし。
	実施過程の評価	・特になし。
	効果発現要因の整理	・特になし。
	事後評価原案の公表の妥当性	・特になし。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは、妥当であることが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・未解決課題のうち、交通量の多さや通り抜け交通への対応について、地区全体で協議が必要との事務局説明に対し、委員より問題意識の共有があった。
	フォローアップ	・指標①(防災対策への満足度)について、地区別データによる再評価の必要性について委員より確認があった。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は、妥当であることが確認された。
その他	・特になし	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。